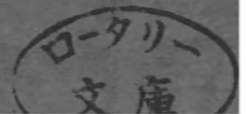


ロ-タリアン
- 第一歩 -

京都山科ロータリークラブ



標 語

“Service Above Self”

「超 我 の 奉 仕」

“He Profits Most
Who Serves Best”

「最もよく奉仕する者、
最も多く報いられる」

はじめに

ロータリーは人生の宝

「ロータリーを知ってもらおう。ロータリーを楽しんでもらおう。ロータリーで仲間を見つけよう。ロータリーはするめのようなものだ。かみしめばかみしめる程、味が出てくる。」これが平成元年の私の気持ちです。

チャーターメンバーとして当クラブに入会させていただき、クラブの発展に微力ながらも尽くして参りましたが、当初私にとってロータリーを理解することが、なかなか難しく感じられました。その実感から、何か分かり易い親しめるロータリーの手引きのようなものがあればと思っていたので、この度ロータリー情報委員会にその旨を伝え、このような冊子を作っていただきました。

昨今、高齢化社会・高度な情報化・価値観の多様化のなかで、もう一度自分自身の人生を考えることも意義あることと思います。全ての人々はいろいろ違った面を持っています。だから接して楽しいのです。お互いに他人の花が美しく見え、だから、心も揺れる日々があるのです。自分には自分なりの道理があるように、ロータリーに対する考えも人さまざまです。しかし、自分のロータ

リー観を早く確立して、誇りと自信を持って善意の満ちた日々を送ってほしいものです。

自分の人生というのは、誰も替わって生きてくれません。かけがえのない、たった一度きりのものです。それを如何に充実させ幸福に生きるかは、先ず人を信頼し、人に感謝する気持ちを失わないことだと思います。それが人と人の触れ合いの原点ではないでしょうか。

豊かな人間性が、ロータリーの輪の中から生れることを信じ、情熱とロマンをもってロータリーを楽しみながら、愛のある人生を送りましょう。新会員を迎えて、心からご歓迎申し上げます、一日も早く素晴らしいロータリアンになられるよう、ご期待いたします。

1989～90年度 京都山科ロータリー・クラブ

会 長 小 沢 利 夫

目 次

はじめに	ロータリーは人生の宝	1
目 次		3
第1章	ロータリーについて	
	ロータリーの綱領	4
	4大奉仕部門	5
	4つのテスト	6
	ロータリーの誕生とその成長	8
	日本のロータリー	9
	わがクラブの歩み	10
	クラブの概要	14
	委員会の構成	15
	同好会一覧	16
第2章	ロータリーの心	
	ロータリアンの心得	17
	ロータリーの心	19
	ロータリーの楽しさ	20
第3章	例会について	22
	京都山科ロータリークラブの歌	28
	あとがき	30

第1章 ロータリーについて

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道德水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

4 大奉仕部門

前ページの綱領を実現していく手立てとして、ロータリーには、いわゆる4大奉仕部門と青少年奉仕活動があり、そのための委員会が設けられています。会員は役員を除いてすべて、いずれかの委員会に所属し奉仕活動にたずさわらねばなりません。

4大奉仕部門とはクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の4つのことです。

綱領の①に対応するのがクラブ奉仕です。この部門には、さらに特定の分野を担当する専門委員会が、親睦活動委員会をはじめ16ばかりあります。

綱領②に対応するのが職業奉仕委員会です。「職業奉仕」とは、ロータリー独特の概念と言えるかも知れません。各自が従事している事業なり専門職務について、日常の関係の中でその道德的水準を高め、品位あるものにする活動で、個人的奉仕が第一に強調されます。

綱領の③に対応するのが社会奉仕です。地域社会が抱えている諸問題に対して応えていく責任がロータリーにはあり、その責務を遂行するために社会奉仕委員会があります。

綱領の④に対応するのが国際奉仕です。世界理解と平和と友好をめざして国際奉仕委員会があります。

4つのテスト

言行はこれらに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

THE FOUR-WAY TEST

of the things we think,
say or do

1. is it the truth?
2. is it fair to all concerned?
3. will it build goodwill and better friendships?
4. will it be beneficial to all concerned?

「4つのテスト」は規範でも教条でも、誓いの言葉でもありません。このテストについては、多くのお説教がなされていますが、テスト自身は説教ではありません。自己評価をひきだすための道具であり、簡単で実際に役立つ指針を示そうというのが狙いです。

このテストはシカゴのロータリアンであり、のちにロータリー創立50周年の年度にRI会長をつとめたハーバート・J・テラーが考えたものです。

1932年の世界大恐慌の際、破産しかけたアルミニウム会社の経営を任されたテラーは、業務の指針としてこのテストを考案し、従業員に実践することを訴えました。さしづめ会社の広告から誇大な宣伝文句が姿を消し、同業者に対する悪口もなくなりました。それと引き替えに信頼と好意が寄せられ、会社再建は成功しました。

国際ロータリーは、この自己反省方式を高く評価し、1943年に正式に採用を決定しました。すべての奉仕活動、特に職業奉仕活動に大変効果があると考えたからです。

ロータリーの

誕生とその成長

日露戦争が大詰めを迎えようとしていた明治38年、すなわち1905年の2月23日、そのころ経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポール・ハリスが3人の友人と語らって第1回の会合を開いたのがロータリー・クラブの誕生であります。

ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。

このクラブは確実に成長し、現在の国家および地域に広められ、クラブ数は、会員数は人に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリー(RI)が構成されています。

国際ロータリーの最近の主要事業としては、地球上からポリオその他の伝染病をなくすため、約2億3000万ドルを拠金、全世界の児童の予防接種を進めていることがあげられます。

またロータリー財団を設けて、世界有数の国際奨学金事業を実施しています。

日本のロータリー

わが国のロータリークラブは1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が初めて東京にこれを創立し、翌年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。

その後第二次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に務め、その真髓と組織を維持してきました。

戦後国際ロータリーに復帰するや、ますます発展、現在では北は北海道、南は沖縄およびマリアナ諸島(グアム・サイパン)を加え、クラブ数、会員数人に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。

会員は地域内の奉仕の理想にもえる堅実な事業家、専門職務に携わる人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

わがクラブの歩み

京都山科RCは、第365地区故平澤 興ガバナーの時、京都東RCがスポンサーで、創立会員（チャーターメンバー）24名（内キーメン5名）をもって10年ぶり市内6番目のRCとして昭和43年（1968年）4月2日創立し、同13日国際ロータリーより正式に加盟が承認されました。

ガバナー特別代表は故前田 勝氏、エクステンション委員長は梶原基宏氏で、毎週の例会は火曜日にホテル東山閣で開かれました。当初はロータリーの難しい規則よりも、むしろロータリーの心として「この出会いを大切に、その触れ合いをいつまでも暖かく」、さらに「良識の場として品位と礼儀を失わず、お互いに思いやりの心で」と、強調されました。

この年の11月には、3日間にわたり国際ロータリー加盟認承状伝達式（チャーターナイト）が行われ、その前月に入会した5名を加え僅か29名の会員で、実に1000名におよぶ先輩ロータリアンを迎え、門出にふさわしく暖かい祝福を受けました。

ロータリーは出席に始まります。出席によって初めて親睦が得られ、奉仕の心が高められるからです。ロータ

リーを知り、会員相互が親しくなるために、あらゆる会合に参加することを呼び掛けました。

その結果、発足以来5年間1名の退会者もなく、そのうえ全会員が出席率100%を持続するなど、輝かしい記録を打ちたてました。このことが今日、地区内でも1、2を争う出席優秀クラブとして、常に表彰されているもととなったのです。

毎年順調に会員も増加して、地域に対する奉仕活動も活発に行われ、時計塔の設置、消防広報車の寄贈をはじめ、母子家庭1泊招待、東養護学校や国際留学生寮に対する協力、さらに地域少年野球大会・少年剣道大会の開催など物の奉仕より心の奉仕へ、そして全員参加の奉仕へと、発展していきました。またとくに次代をになう青少年の健全な育成を期して「青少年育成基金」が設けられ、その果実をもって有効な支援活動が続けられています。

次第にクラブ内の充実とともに対外的にも他RCとの交流が図られ、国内は金沢南RCと姉妹クラブを、国外では台湾新竹RCと友好クラブ（のち姉妹クラブに変更）を締結して、相互の友情を深め、今日に至っています。

9年度に従来東山区山科であったのが、分区独立して山科区となったので、当クラブのテリトリーは山科区全域と東山区の一部となりました。次いで翌年、創立10周年を記念して諸事業とともにクラブの10年にわたる足跡を記録した「奉仕と友愛の10年」と題する立派な記念誌が発刊され、またこの年地区は第265地区と改められました。国際ロータリー年次大会もこの年東京で開かれました。

ややもすれば年の経過とともに、クラブは次第に運営が安易に流れ非効率的となり、惰性と沈滞の空気が流れがちですが、丁度その頃、すなわち13年度に地区年次大会のホストを仰せ付かり、会員は一致団結して総力をあげて取り組みました。

大会は各地より3200名を超すロータリアンの参加を得て、2日間にわたり成功裡に幕を閉じましたが、これによって会員相互の友情も一層深まり、再びクラブに活力がよみがえりました。

そして積極的に、新しく京都山科RACを、さらに5年後には当クラブが**スポンサー**となり京都洛東RCが創設され、その間増田房二会員が地区ガバナーとして活躍されました。

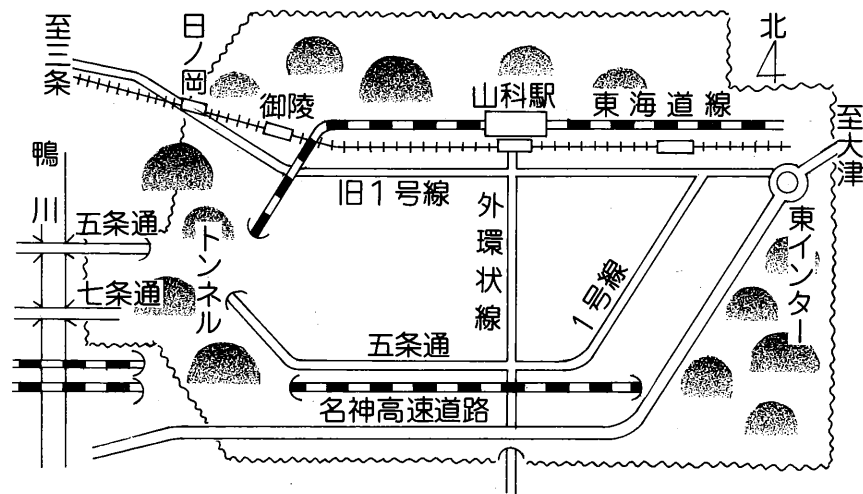
クラブの独自の運営として、毎月第一例会は「クラブデー」と名付け、雰囲気をかえて会員が楽しく歓談できるよう配慮し、また健康管理委員会によって、たえず会員の健康に留意されています。なお各種同好会を設け親交を深めています。

例会場は会員の増加にともない京都ロイヤルホテルにさらに都ホテルへ移転しました。駆け足で当クラブの歩みを記しましたが、当初ロータリーを早く理解するため皆に出席を厳しく求めたのが、いつの間にか当クラブの伝統的美風となっています。また会員も順調に増加し、その間幾多の困難も、会員のクラブを愛する情熱と協力に支えられ、今日地区内有力クラブのひとつに成長したのです。

ロータリーは永遠のものであると同様、クラブも永遠に強い生命力を持っています。クラブの今日までの歩みを知ることによって、先人の苦勞に感謝し、お互いに人間性豊かな、すばらしいロータリアンになるよう努力しましょう。そしていつまでも誠実あふれる活力あるクラブであることを願っています。

クラブの概要

- 【創立】 1968年(昭和43年)4月2日
- 【R. I. 加盟認証】 同年4月13日
- 【スポンサークラブ】 京都東ロータリー・クラブ
- 【特別代表】 前田 勝氏(故人)
- 【チャーターメンバー】 24名 現在 名
- 【現在会員数】 名 名誉会員1名
- 【例会場】 蹴上 都ホテル
- 【例会日時】 毎週火曜日12時30分
- 【事務局】
- 【区域限界】 京都市山科区全域および五條通以南、
七条通とその東方延長線以北の東山区。



委員会の構成

《クラブ奉仕》

出席	職業分類	クラブ会報	親睦活動
雑誌	会員選考	会員増強	プログラム
広報	ロータリー情報		規定審議
記録	健康管理	姉妹クラブ	ニコニコ箱
ソング			

《職業奉仕》

職業情報

《社会奉仕》

環境保全 高齢者

《国際奉仕》

ロータリー財団 米山奨学

《青少年奉仕》

青少年 青少年育成奨学基金 ローターアクト

註 《 》の委員長には、各理事が担当します。

同好会一覧

詩吟	囲碁	将棋	ダンス	中国語
ひねり	無線	見学鑑賞	マージャン	写真
ゴルフ	テニス	ボウリング	ほろにが	俳句

— 用語メモ ① —

【ニコニコ箱】

ことある毎に感謝の気持ちを托し、そのコメントが皆の微笑を誘うような寄付。スマイル・ボックスともいいます。集まったお金はクラブの運営には使わず、すべて奉仕活動の費用に当てられます。

【炉辺会合】

Fireside Meeting の訳語で、かつては各会員の家庭を持ち回りで開かれた、小人数の非公式の会合。ロータリーのあり方など、いろんなことが話題になり、ホンネが飛び交う場です。グループの組織は、クラブの緊急連絡網を兼ねています。

第2章 ロータリーの心

ロータリアンの心得

ロータリーは世の中に奉仕をしようとする人達の集りです。この心を持つ良識ある人達は、先ず礼儀が大切です。それには、いうまでもなく “けじめ” や “わきまえ” が要求されます。礼儀は人間としてのすなおな心のあらわれであり、人に対して仕方なくしたり、人にいわれてするものではなく、自分の人格として自分を甘やかさないために、厳しい態度として常に失わないよう心掛けるべきです。それによって暖かい友情が生まれ、また尊い奉仕ができるからです。とくにロータリーは良識の場として、礼儀と品位を大切にしましょう。

ロータリーは、世界的な組織であり、そこには多くのルールが必要です。しっかりしたルールがなければ、独断専行・安易な妥協・非民主的行為が横行し、ロータリーを墮落に導き、その存在価値を失うことになります。

ロータリアンは多くの特典を与えられていますが、同時に決められたルールに十分従うべきです。ロータリアンが最少限度守らなければならないルールは、言うまでもなくクラブの定款・細則です。

このように、ロータリーの理想とするモラル、親睦の基本であるマナー、組織として欠かすことのできないルール、この3つの柱こそ、ロータリーを支えているものです。これをもとに色々の活動が始まります。先ずロータリアンの第一歩として、このことを十分理解しましょう。

—— 用語メモ ② ——

【アッセンブリー】（クラブ協議会）

クラブのプログラムおよび活動について協議する目的で開かれる、もともとは役員・理事・委員長の会合ですが、年6回以上開催することと、全会員の参加が望まれて、通常 例会に引き続きもたれています。

【クラブ・フォーラム】

奉仕活動について会員に情報を伝達する目的で全会員の参加のもとに開かれる。アッセンブリーのように、結論を求めるものではない。

ロータリーの心

ロータリーの創始者ポール・ハリスは大学で法律を学び、卒業してすぐ弁護士を開業せず、5年間見聞をひろめ人生経験を得るために、いろいろ職業を変えながら、アメリカ各地をはじめ外国へも見てまわりました。

その時のことを「人生の最良の面と最悪の面を味わった」と回想していますが、善意が失われたと思われるところで意外な親切心を見出した予期しなかったところで暖かい友情に出会うなど、人間愛の美しさと尊さを肌に感じ、貴重な体験をしました。この体験が後にロータリーの創始と活動に大きな影響を及ぼしたのです。

それは人間がお互いに理解することによって、友愛と尊敬が生まれ、心と心を通じあう輪が広がれば、すばらしい平和な世界になるだろうと考えたのです。

「有難う」「させていただきます」という感謝と謙虚な善意が、人への思いやりの心と助け合う心に通じ、奉仕への道へつながります。

善意がなければ、ロータリーはただの社交クラブであり、職業は金儲のためでしかなく、社会奉仕は施しにすぎず、国際奉仕は外交以外のなにものでもありません。この心の通いを求めるのがロータリーです。

ロータリーの楽しさ

ポール・ハリスは例会に出席すると「童心に戻る」といいました。例会のひとつときは人間性をとりもどす絶好の機会です。人間性とは、人間の自然のあり方、本来の姿という意味です。

競争者のいない世界、警戒心を必要としない時間、ここではじめて自分を反省し、相手のことや社会のことを考えるゆとりができます。また日頃忙しくしている者にとって多くの友人と出会える楽しい気分転換の場です。

特にロータリーは1業種1人なので、気楽にお付き合いができ、友情を深め、その上おたがいに職業を知り合い、視野が広がります。また有益な卓話を聞くことによって教養が高められます。

さらに良識ある人達の集りですので、その立派な人柄にふれ、良いところを学ぶことができます。このように知らず知らずのうちに人間性が豊かになることは、まことに楽しいことです。

ロータリアンはいつも明るい笑顔を忘れないようにしましょう。笑顔は神様が人間のみを下さった大切な宝物です。ポール・ハリスは「人生行路に励ましを与えてくれるものは微笑である。友情を喚起するのも微笑であ

る。微笑は人の心の嵐を静めてくれる。」といいました。相手に微笑みかけると、その微笑が次の人の微笑を生み、明るい雰囲気となります。そしてすばらしい楽しいクラブとなるからです。

—— 用語メモ ③ ——

【地区】 (Districtの訳語)

国際ロータリーの管理の便宜上まとめられた、一群のクラブの所在する区域。日本全体で30の地区があり当クラブは265地区に属します。この地区には福井県・滋賀県・京都府・奈良県のすべてのロータリー・クラブが包含されます。年1回、3～4月に地区大会が開かれています。

【ガバナー】

国際ロータリー理事会の指揮下にあつて、その地区のクラブの管理にあたるRIの役員。地区の最高責任者でもあります。次年度ガバナー予定者をガバナー・ノミニニー、ガバナー経験者をパスト・ガバナーとお呼びします。

第3章 例会について

♣ 例会出席

クラブの例会に出席すること、これがロータリアンとしての第一歩です。毎週火曜日12時30分から始まる1時間の例会に出席することがあなたの生活パターンとして定着し、それをもとに1週間のリズムが作られるようになります、もうしめたものです。

例会出席は会員の重大な義務であり、また権利であるといわれます。でも義務とか権利だからでなく、ロータリーに行かないと何か落ち着かない、明日は火曜日である人に会える、あの方と話し合えると火曜日が楽しいものになれば、あなたのロータリー・ライフは確実に軌道にのることに成功したと申せましょう。

あなたが親睦活動委員なら、来客の受付など特に例会前は沢山の仕事が待ち受けています。最初はだれでも分からないことばかりです。恥ずかしがらずに委員会の正副委員長、班長、先輩ロータリアンに何回でも尋ねて、任務の内容を会得して下さい。自分勝手な判断は間違いの元です。まずクラブの会員の顔と名前を出来るだけ早く覚えることが大事で、すべてはそこから始まります。

♣ クラブの役員

例会や理事会を主宰 (preside) するのは、会長 (President) の仕事です。ただし例会の雰囲気を感じいいものにし、かつプログラムを滞りなく進行させる役目は、S. A. A. にあります。これは Sergeant at Arms の略で、「会場監督」という訳語が当てられています。ロータリー以外ではあまり耳にしないう用語ですから、覚えておいて下さい。

このほか幹事・会計をはじめクラブの役員の任期は、毎年7月1日から翌年の6月30日までの1年間で、同じ人が一度やった役職に再選されることは滅多にありません。役職は年度ごとに交替するのが原則です。

♣ 欠席の補填

このクラブは創立以来ほとんどの年度にわたり出席率100%を堅持してまいりました。あなたのちょっとした不注意から100%を割ることは、自分の成績だけではなく、他の会員の努力に水を差すことにもなりかねないので、くれぐれもご注意願います。

出席出来ない場合のために、欠席補填 (メイクアッ

プ)の制度が設けられています。あなたは世界中のどのロータリー・クラブにも出席できますし、その出席がホームクラブの欠席の補填になるのです。

京都市内では日曜日を除いて、毎日どこかでロータリーの例会が開かれています。他の地方に比べ比較的楽にメイクアップできる訳ですから、欠席は早目に補填しておく癖をつけましょう。

病気やケガで入院したり、ロータリー・クラブのない国に旅行するなど、メイクアップできにくい場合には、事前にクラブ幹事に連絡をとり、その指示に従って下さい。やむを得ず事前連絡が不可能だった場合も、できるかぎり早く幹事に連絡をとるよう努力すべきです。

メイクアップになる期間は定款第7条で、欠席した例会の「前回の例会の定例の時から、次回の例会の定例の時までの間」と決められています。

出席できる時に何回分か「貯金」しておいて、適当なときにメイクアップに当てはめるなんてことは許されません。他クラブの例会以外にどんな会合出席がメイクアップになるのかは、親睦活動または出席委員長にお尋ね下さい。

♣ 例会でのエチケット

ロータリーでの会合の開始時間は正確ですから、遅れないことはもちろんですが、早退も慎んで下さい。やむをえず早退する際は、SAAに届けてからするように。

他クラブ例会に出席しての早退は特に好ましくありません。出席中に突発事項が発生したのなら別として、もともと早退しなくてもよい日を選んでメイクアップすべきです。

卓話の最中の私語が目障りなものであることは、その他大勢で座っていると案外気が付きません。でも「ひな壇」や演壇からすれば一目瞭然で、大変気になるものです。第一、スピーチを聞きたい人の迷惑にもなります。

自分がスピーカーだったら、スピーカーを呼んできた立場ならと想像したら何をなすべきでないか、答えは明瞭です。

その程度の想像力も持てない人間には、ロータリーのバッチをつける資格はありません。隣の人との必要最低限度のコミュニケーションは、筆談という方法で済ませられるはずです。

♣ 課外授業

例会は13時30分に終るのが通例です。でも例会が済んだからといって、慌てて帰るのは勿体ないように思われます。ホテルのロビーでの一見とりとめもない雑談からも、結構教えられることは多いからです。

さらにはいろんな同好会のどこかに入会されることを特にお勧めします。学生生活では、教室以上に、グラウンドやサークル活動で得たものがいかに大きかったかを思い出してもらえれば、この間の事情はよくお分かりいただけるのではないのでしょうか。

クラブの会員の顔を覚えると同時に、自分も覚えてもらうためにも、入会当初はなるべく本クラブの例会に出るようにしてメイクアップは極力避けて下さい。

しかし、いずれはメイクアップのために他クラブに出席されることでしょう。

メイクアップすることによって親睦の輪を更に広め、クラブごとにいろんなカラーがあることも分かります。欠席補填の意味に止まらず、これはこれでいつもとは違った勉強になるはずです。

♣ ロータリーという名の学校

ともかくロータリーには、人生の師と仰ぐべき方が沢山おられます。さらには『反面教師』にもこと欠かないようです。

入学してこられたあなたが、これからの何年間、ただ背広のえりにバッチをつけ会費を払うだけの会員に終るのか、ロータリーという場で何かを学び取り、学んだことを「奉仕」という形で社会にお返しするのか、それはあなた次第です。

ロータリーという学校が、あなたにとって終生の学校であり、「ついの棲み家」になることを、優等生にはなれなくともロータリー・ライフを自分なりにエンジョイしたと、いいきれようになれることを、せつに希望いたします。

京都山科ロータリークラブの歌

昭和53年4月8日 創立10周年記念式典にて発表

明るく (J=106)

友ら集いて

作詞：増田 房二
作曲：大栗 裕

はるうらーらかーにーかぜかおーる
なつきさんーらかんーとひはそそーる
あきさわーやかーにーかみはみそーる
よゆしずーやかーにーゆきみつもーり

よにただーしきーをきづかかんーとと
よにかかたもーしりーをりなふつかさんーとと
よにおおすーけあーいいふつかめんーとと

もらつといていざかたらんーしんこう
ほ

じつみのちー
へいこのみちちー
うしうのみのちちー

友ら集いて
作詞 増田房二
作曲 大栗裕

一 春うららかに風かおる
世に正しきをきづかんと
友ら集いて いざ語らん
真実の道 ロータリー

二 夏さんさんと陽はそそぐ
世にかたよりをなくさんと
友ら集いて いざ語らん
公平の道 ロータリー

三 秋さわやかに紅葉する
世に思いやり深めんと
友ら集いて いざ語らん
友情の道 ロータリー

四 冬しずやかに雪つもる
世に扶けあい強めんと
友ら集いて いざ語らん
奉仕の道 ロータリー

あとがき

はじめてロータリアンになられた方に、これだけは知っておいて欲しいと思うことをまとめてみました。

アラゴンの詩に「教えるとは希望を語ること」という言葉があります。この冊子が、単なる知識の切り売りではなく、ロータリーについて何か「希望を語っている」とするなら、作った甲斐もあるというものです。

題字はクラブ2代目会長の説田会員の筆になります。第2章は主として5代目会長の廣田会員のお力に頼るなど、ロータリー情報委員の皆様はじめ多くの方々に何かとご協力いただきました。心から御礼申し上げます。

章ごとの文章のトーンの違いは、今回はあえて手を加えずにおきました。ご寛容のほどお願いいたします。

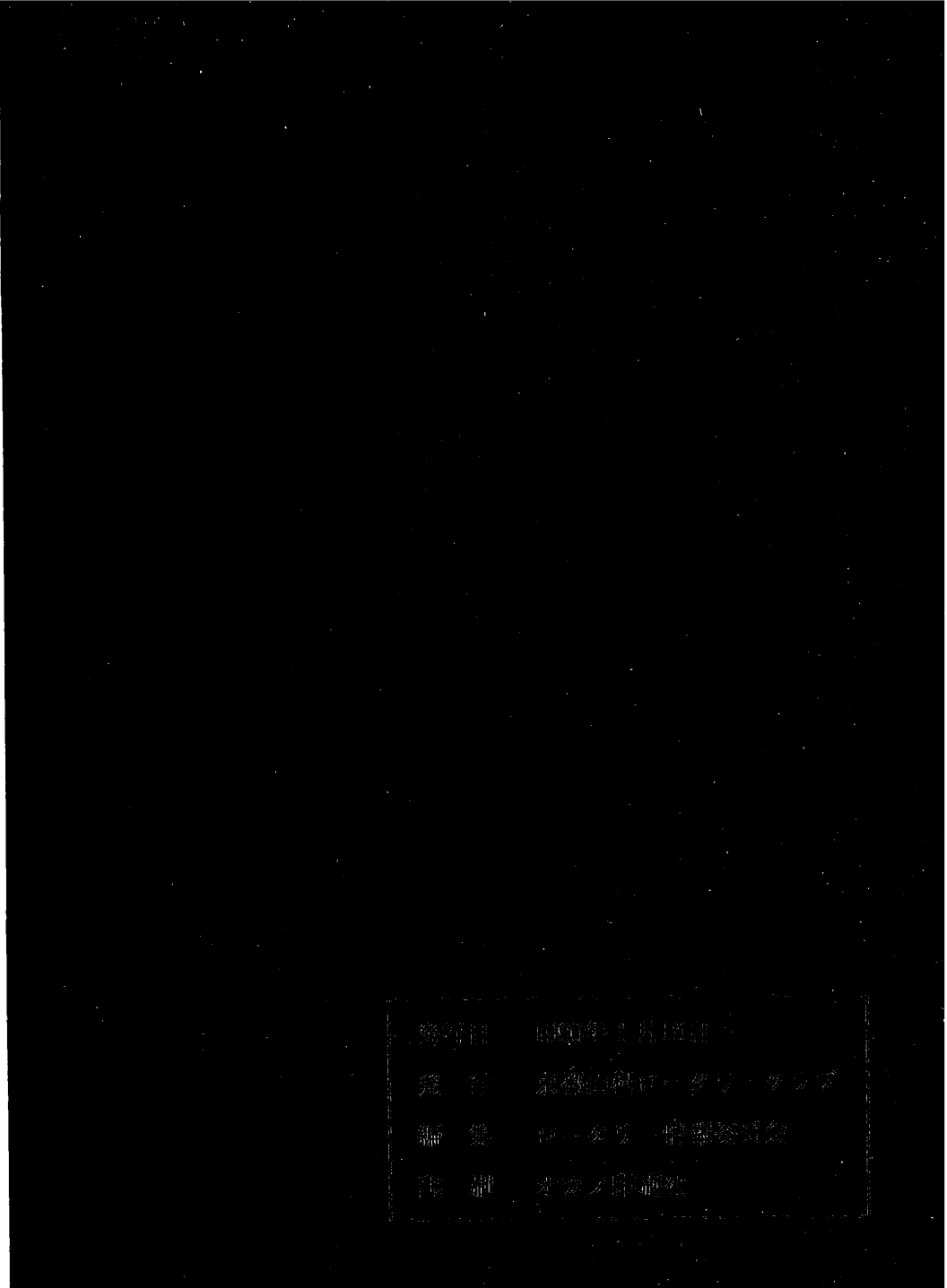
ご覧のとおり、この冊子はワープロによる手作りですから、修正、加筆はいたって簡単です。お気付きの点はお気軽にどしどしご教示願います。あなたのお力も借り冊子の名前のように “ 一歩 ” “ 一歩 ” よりよい内容に仕上げていきたいと存じます。

1990年1月

ロータリー情報委員長 小林一恵

ロータリーの友殿寄贈

00.10
12328
ロータリー支庫



発行日 1999年1月15日
発行所 東京山科ロータリークラブ
編集者 ロータリー 特選委員会
印刷所 東京印刷社